省エネ＋コスト削減も実現

おすすめします
脱炭素経営

～事業所向け・脱炭素への取組

今、起きている「気候変動」とは？　その影響は？

自然を吸い込む、街の音が聴こえる
高根沢
TAKANEZAWA TOWN

〇気候変動とは、長期的な気温や降水量の変化を指し、近年は主に人間の活動に起因する温室効果ガスが大きく影響しています。気候変動は、事業活動に様々な影響や被害をもたらすことがあります。

事業者が被る気候変動影響の例

出典：気候変動適応情報プラットフォーム

「気候変動」への対策は？

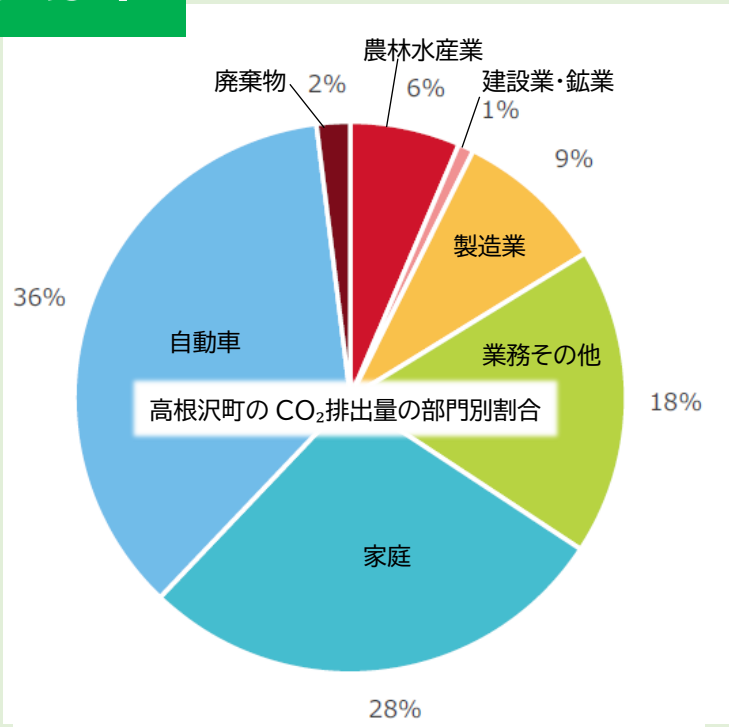
気候変動対策は原因（温室効果ガスの発生）を減らす**「緩和」**と今起きている・これから起きる影響に備える**「適応」**があります。

出典：気候変動適応情報プラットフォーム

「気候変動」の影響を減らすためには？

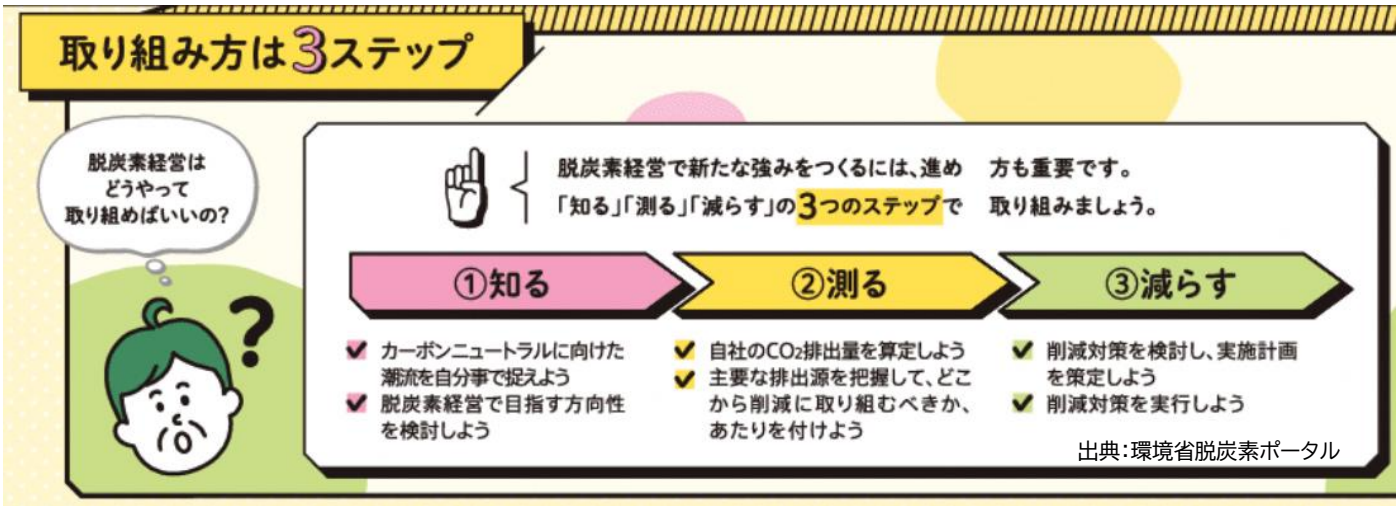
「緩和」・原因を減らす

○町全体の1年間の温室効果ガス（CO_2）排出量136,183t-CO_2のうち、「自動車」から排出される割合が36%で一番多く、次いで「家庭」の28%となっています。
農林水産業・建設業・鉱業・製造業・業務その他（小売業・飲食業・サービス業・医療福祉・教育等）といった、事業から排出される割合の合計は 34%となっています。（2020 年度）

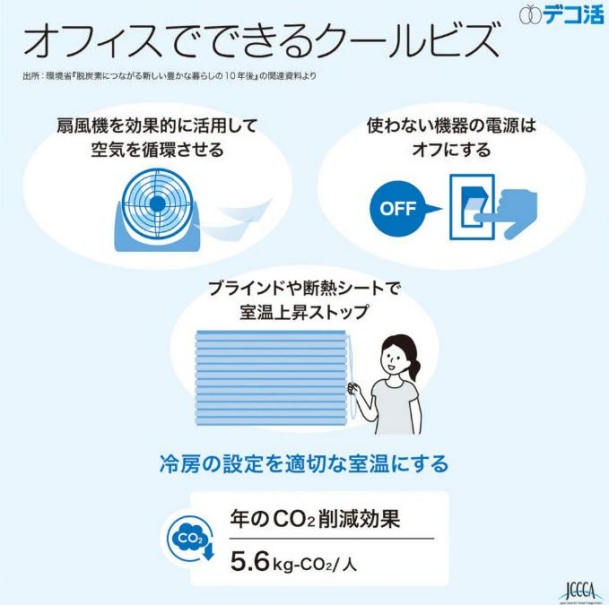


事業所の脱炭素の取組（＝緩和策）のすすめかた

☆キーワードは「知る・測る・減らす」



・事業所での取組は、初めにどんなエネルギーを、何に、どのくらい使っているのかを「知る・測る」ための「エネルギーの見える化」をしましょう。
・エネルギーの現状を把握することで、何をすればエネルギー使用量が削減できるかがわかり、「減らす」ことにつながります。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

☆「見える化」ができたら…

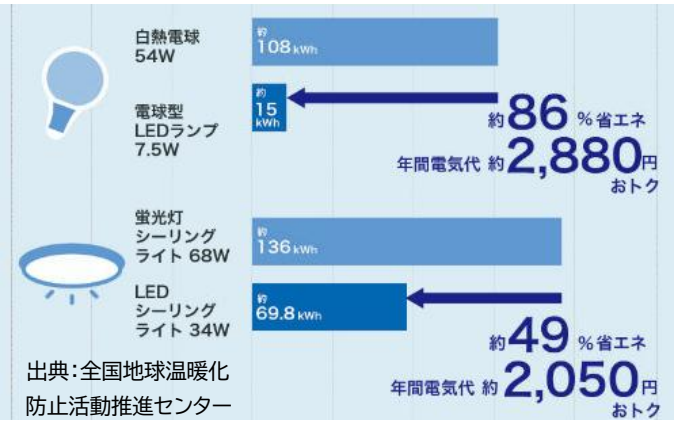
お金をかけなくてもできる取組から

① クールビズやウォームビスで「省エネ」

・季節や勤務場所、業務内容に応じて服装を工夫しましょう。
・使わない機器の電源は「オフ」
・冷暖房の使用方法を工夫すれば、使用する電力量を減らせます。
・電気料金が下がって経費削減に、CO_2排出量も下がります。

② 照明器具や設備・機器類の更新時に「省エネ」

・照明器具は、消費電力が少なく寿命の長い LED に切り替えましょう。（※蛍光灯は 2027 年までに製造や輸入が禁止され、交換できなくなります。）
・設備や機器類を更新するときには、「高効率」・「省エネ」タイプを選択しましょう。
・使用する電力量を減らすことができ、電気料金が下がって経費削減に、CO_2排出量も下がります。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

出典：環境省デコ活

③ 自動車の運転は「エコドライブ」

・発進時はゆっくり発進し、車間距離にゆとりをもってムダな加速・減速をしない運転を心がけましょう。
・エアコンは適切に使用し、暖房のみ必要な時はオフにしましょう。
・渋滞を避け、余裕をもって出かけましょう。
・不要な荷物は下ろし、ムダなアイドリングもやめましょう。
・こまめにタイヤの空気圧や燃費の点検をしましょう。
・使用する燃料が減って経費削減に、CO_2排出量も減らせます。

④ 廃棄物の排出抑制・資源物の分別・再資源化

・製品設計時の廃棄物の減量・再資源化、簡易包装、レジ袋削減、量り売り等、事業活動での廃棄物の発生を抑制しましょう。
・事務所や店舗に資源回収ボックスを設置し、再資源化に協力しましょう。
・契約や材料購入などの際には、環境配慮契約やグリーン購入を心がけましょう。
・廃棄物処理にかかる経費が削減でき、CO_2排出量も減らせます。
・金属製品や古紙などの資源物は再資源事業者に売却し、収入を得ることも可能です。

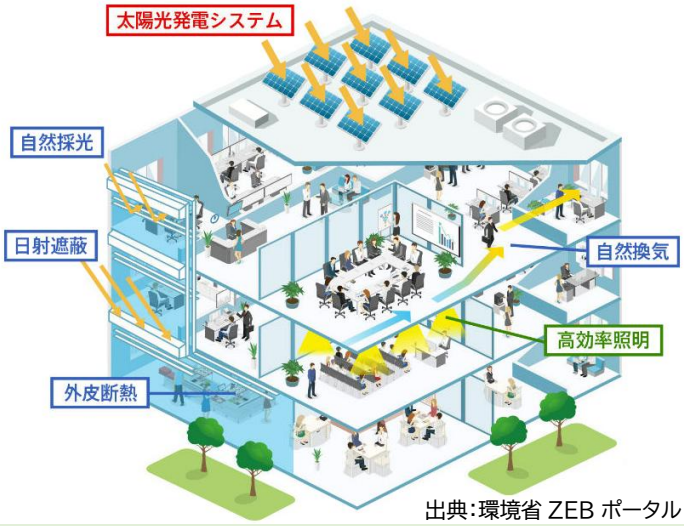
もっと効果を出すなら！事業所の脱炭素の取組（＝緩和策）

① 太陽光パネル・蓄電池導入で「創エネ」

・太陽光パネルと蓄電池の併用で、電力のピークカット・ピークシフトができ、電気料金が下がって経費削減に。
・災害発生時等の停電でも電気が使えて「安心」。
・太陽光発電は化石燃料を使わない「再生可能エネルギー」なので、CO_2排出量も減らせます。

② 建物の断熱・遮熱施工で「省エネ」

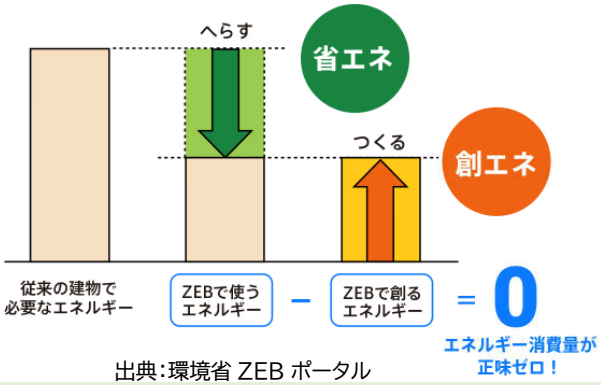
・冷暖房を使っていても、建物の屋根や壁、床などから屋外へ熱が逃げています。特に窓やドアといった開口部から、夏は暑い空気が流入し、冬は温めた空気が流出しています。
・建物の断熱や遮熱をすることで、冷暖房時の熱の流入出が抑えられ、室温が一定に保たれるので従業員の勤務環境が改善します。
・電力量が減って経費削減に、CO_2排出量も減らせます。さらに、従業員の健康維持や仕事の効率アップにも効果があります。



出典：環境省 ZEB ポータル

③ 建物を「ZEB」（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）に

・快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間のエネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。
・建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。



出典：環境省 ZEB ポータル

「適応」・影響に備える

〇毎日の事業で CO_2排出量を減らしても、すぐに気候変動が止まるわけではありません。今起きている・これから起きる影響を最小限にするために、備えることも大切です。

熱中症に備えよう（＝適応策）

・気温が高くなる日は、こまめに休憩と水分補給をしましょう。
・室内でも熱中症になることがあります。エアコンを適切に使って快適に過ごしましょう。
・気温が高い日の屋外での活動や外出は、可能な範囲で時間を変更する、空調服や帽子などを活用する、など従業員の安全に留意しましょう。
・季節や勤務場所の環境・業務内容に応じた服装を選びましょう。
・屋外での活動中に「熱中症特別警戒情報」が出たときは、クーリングシェルターに避難することができます。

クーリングシェルターについて（町 HP）⇒

災害に備えよう（＝適応策）

ハザードマップ（町 HP）⇒

・気候変動の影響で、雨の降り方が変化（極端化）しています。
・雨が降る日数が減っていますが、降水量は増えていて、短時間で集中して大雨が降る集中豪雨や「ゲリラ豪雨」が増えています。
・海水温の上昇や偏西風の蛇行によって、台風が大型化し、日本に上陸する可能性が高くなっています。
・豪雨や台風による洪水・浸水などの水害には、事前に身を守るための準備ができます。
・ハザードマップを確認し、いざという時のために「マイタイムライン」を作成しておきましょう。
・地域の防災訓練に参加し、災害発生時の動きを確認しておきましょう。
・災害発生時でも事業を継続できるように、BCP（業務継続計画）を作っておきましょう。

⇐中小企業庁 BCP 策定のページ

もっといろいろ調べたいときは

⇐中小規模事業者向け脱炭素経営導入ハンドブック（環境省脱炭素ポータル）

⇐中小規模事業者向け脱炭素経営のすゝめ（環境省脱炭素ポータル）

町環境課には、脱炭素の専門家「地域脱炭素ディレクター」が在籍しています。事業所の「エネルギーの見える化」の相談や、脱炭素経営の相談が無料でできますので、気軽に環境課にご連絡ください。
町の気候変動対策・脱炭素に向けた取組については、町ホームページに掲載しています。

気候変動対策（町 HP）⇒

高根沢町環境課
TEL:028－675－8109
MAIL:kankyou@town.takanezawa.tochigi.jp